

国語科学習指導案			
令和 * 年 * 月 * 日 (*) 第*校時 第1学年*組 (習熟度別*名) 指導者 小田部明香			
育成する国語の能力	論理の構成や展開を工夫し, 論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめることができる。		
単元名	表現の実践8 意見を述べる (高等学校 改訂版 新編国語総合 第一学習社)		
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが, 確実な論拠に支えられ, 前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書こうとする。 [関心・意欲・態度] ◎自分の考えが, 確実な論拠に支えられ, 前後矛盾することなく伝わりやすい文章を書くことができる。 [書く能力] 書くことに必要な文の組み立てについて理解する。 [知識・理解] 		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	自分の考えが, 確実な論拠に支えられ, 前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書こうとしている。	自分の考えが, 確実な論拠に支えられ, 前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	伝わりやすい意見文の構成について理解している。
取り上げる言語活動	出典を明示して文章や図表などを引用し, 説明や意見などを書くこと。		
教材	高等学校 改訂版 新編国語総合 第一学習社		
指導計画 (学習計画) 全7時間 第1次 (1時間) 第2次 (1時間) 第3次 (3時間) (本時) 第4次 (2時間)	主な学習活動		主な評価
	意見文の書き方について学ぶ。		意見文の構成について理解している。
	課題を読みとり, 自分の意見を持つ。		課題を読みとり, それを元に自分の意見を書いている。
	自分の意見と論拠, データをまとめ, タブレットを利用して構成を考える。さらにそれを深めるために話し合う。		論拠が適切かどうか判断し, 精査している。
	実際に意見文を書き, 推敲する。		説得力のある文章の構成について考え, 適切な論拠を示しながら記述している。
授業改善の視点	<p>中学までに「評論を読み, 意見文を書く」という活動はしており, ほとんどの生徒が自分の意見をもつことができる。しかし, 意見を支える論拠やデータの読み取りが適切ではなかったり, 論理が飛躍していたりすることがある。これは, 意見を書くことに気をとられ, 文を思いついたまま書き出し, 着地点が見えないままに書き続けてしまうことがその要因であると考えられる。また, どのような論拠を示せば, 説得力のある文章を書くことができるのか分からない生徒もいると考えられる。</p> <p>そこで, 意見文を書いてから添削するのではなく, 意見と論拠を先に周囲と交流することによって, 適切な論拠かどうかを確認してから意見文の作成をしたい。その中でタブレットを利用することで, 試行錯誤がしやすく, 何度も意見を練り直すことができると考えられる。そのようにして, 意見文を書く前に意見をまとめて交流することで, 意見を深め, 適切な論拠に支えられた意見を書くことができる。また, 相手に伝えることを念頭に置いて活動することで, 伝わりやすい構成を考え, 説得力のある文章を書くことができるようにしたい。</p>		

茨城県立**高等学校	
令和*年*月*日（*）第*校時	
指導者	小田部 明香
教室等	多目的1教室

本時案（第4時）		指導者	小田部 明香
		教室等	多目的1教室
本時の目標〔観点〕	・意見の論拠が適切か、より伝わりやすくするにはどうしたらよいか考えようとしている。 （関心・意欲・態度） ◎意見の論拠が適切かどうか判断し、より説得力のある意見となるように精査している。 （書く能力）		
学習活動	時間	指導上の配慮事項 ☆論理的思考力育成の手立て	評価規準と評価方法 ★論理的思考力の検証方法
1 本時の学習目標、活動内容を確認する。（電子黒板）	5	○電子黒板にスライドを示し、目標、流れを生徒と共有し、学習の見通しをもたせる。	
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 意見文を書くための論拠を精査し、より説得力のあるものにしよう。 ～ 「なんで？」「本当に？」を説明できる意見にしよう！～ </div>			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 救急車の有料化に賛成か反対か。 </div>			
2 ペアで自分の考えを発表する。 （生徒用TAB SKYMENU発表ノート） A タブレットでスライドを示しながら説明する。 B 発表を評価し、アドバイスができるようメモをとる。	10	○交代で作成したスライドを示しながら自分の考えを伝え、相互評価させることで、その論拠が適切かどうか考えさせる。 ☆相手に伝わりやすいように、意見と論拠を明確にスライドを提示しながら発表させる。 ○各ペアを回り、チェックリストを見ながら評価するよう声をかける。 ○手本となりそうな生徒をチェックしておく。	・意見の論拠となるものが適切かどうか相互評価している。 [発表の観察、記述の分析]
3 発表した内容について話し合う。 （生徒用TAB SKYMENU発表ノート） タブレットに書き込みをしながら改善策を話し合う。	20	○考えをより説得力があるものにするために改善策を話し合い、内容を精査する。 ☆疑問に思った場所「なんで？」やもっと深く聞きたい場所「本当に？」「どういうこと？」に○をつけ、説明をしながら話し合う。 ○つっこみポイントを参考に話し合いさせるようにモデルとなるような問いかけをする。 ○話し合いの過程を記録しておくように指示する。	★意見やその論拠がより適切になるように話し合いをしている。 [行動の分析]
4 モデルとして何人か発表する。 （電子黒板 SKYMENU発表ノート） 発表者：スライドを指さしながら	10	○モデルとなるものを全体に向けて発表させ、参考にさせる。 ☆スライドを電子黒板に提示し、書き込みをしながら発表させる。	

<p>ら伝わりやすく話す。</p> <p>その他：論拠の精査の工夫について参考となる部分をメモにとりながら聞く。</p> <p>5 自己評価を行う。</p> <p>評価表を用い、次時に生かせるようにする。</p>	<p>5</p> <p>○本時の活動により、論拠を精査して説得力のある意見文を書く準備ができたか振り返らせる。次時、再度まとめることを説明する。</p> <p>○スライドを前時までのものと別に保存させ、思考の過程がわかるようにしておき、意見文を書く際に参考にさせる。</p>	
--	---	--

論理的思考力とICTの活用について

タブレットを利用することにより、自分の考えを分かりやすくまとめることができる。紙面よりも加筆訂正がしやすく、思考や話し合いが活発にできると考えられる。また、その過程を保存して見比べることができ、この授業による成長を測ることができる。

また、タブレット上のSKYMENU発表ノートの画面は話し合いをする際にも相手に見せやすく、相手の画面にも書き込みやすいという利点がある。これを利用することで、自分の考えを主張することが苦手な生徒でも、考えをオープンにする抵抗が少なくなり、相手と考えを共有しながら話し合いをすることができる。さらに、教師機を通して電子黒板に投影することで、全体にもすぐに共有することができるため、その時間中に話し合いの結果を知ることができ、次時へもつながりやすい。

これらのことから、生徒の論理的思考力を育てる過程で利用することで、積極的に活動に取り組み、試行錯誤しながら自分の考えとその根拠をブラッシュアップさせていくことができると考える。